



病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にする最善の医療を行い、地域に貢献します



基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

- 1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
- 2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
- 3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
- 4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます







第4回 市民ふれあい祭り 2017





市民ふれあい祭り 2017 実行委員長 高橋 光浩

平成29年7月22日、「第4回市民ふれあい祭り2017」が当院にて開催されました。心配された 天気も、日頃の行いがよかったためか何とか持ち応 えてくれました。

中鉢院長と千葉栗原市長によるオープニングの 挨拶後に各ブース、コーナーによる催しが開始され、 特設ステージではくりくり保育園児による歌と遊 戯、ねじりほんにょの歌の作曲者 Natsu さんによ る歌唱、循環器内科の矢作先生と尾形先生による講 話、フラダンス、白鶯太鼓等が行われました。

20 か所以上に及ぶ各ブースでは病院職員、築館高校ボランティア部のみなさんによる手作り感満載の催し物が行われました。見学ツアー(放射線科、手術室、地下免震装置)、体験コーナー(ドクターorナースへ変身、浦島太郎体験、手洗い体験、薬剤師の幸せ化学教室、サザエさん de 体操)、測定コーナー(血管年齢、口コモ度チェック、体組成測定)、学習コーナー(循環器、食中毒、医師による生活習

慣病相談、栄養歯科相談、栄養口腔ケア、誤嚥予防)、 築館高校ボランティア部による縁日コーナー、築館 消防署員による消防車・救急車体験試乗、カフェ等 盛りだくさんの内容でした。

最後は恒例のよさこい踊りでフィナーレ。当日は 一般の方だけでなく当院職員の家族、育休産休中の 看護師さん、当院を退職された方等大勢の方々に来 場して頂きありがとうございました(来場者数約 1400人)。

このふれあい祭りで栗原中央病院がより身近な 存在となり、また健康に関心を持って頂ければ幸い です。今後も内容の充実を図りながら地域交流の一

環として継続していく予 定ですので宜しくお願い します







第4回 市民ふれあい祭り 2017

~地域と密着した病院を目指して~

今年も第4回市民ふれあい祭り 2017 が盛会裏に終りました。昨年よりも多い約 1400 名の市民 のみなさんが病院に足を運んで下さいました。"楽しみながら病院を知って頂きたい" という思いから、工夫を凝らしたブースがならび、市民のみなさんと笑顔でふれあうことができました。

来場者からのアンケートでは、『体験コーナーや見学ツアーが多く、普段見ることのできない場所に 入ることができて楽しめました。』『色々工夫されて健康を振り返るコーナーがあり、改めて健康について考えていきたいと思いました。』などのお声を頂きました。

これからも市民のみなさまと共に、より良い病院づくりを目指していきたいと思います。



ご来場くださいました市民の皆さま、ご協力くださいましたボランティアの皆さま、大変ありがとうございました。

☆第20回連携のつどい"よらいん"☆

平成29年7月7日、『薬-薬連携 在宅医療への可能性を拡げよう』をテーマに、第20回連携のつどい "よらいん"が開催されました。 講師には栗原中央病院 副薬剤科長 髙橋裕保氏、仙台調剤栗原店 薬局長 大石佳慶氏、在宅医療支援薬局ななほし薬局 代表取締役 大江裕一氏をお迎えし、講話いただきました。

当日は 133 名の参加があり、大変興味深い内容であったのだと感じました。病院、調剤薬局、在宅医療支援薬局それぞれの立場から、在宅薬剤管理の大切さと在宅薬剤管理を行うための連携の在り方を聞くこと

が出来ました。同職種でありながらも立ち位置によって役割分担・機能分担が重要であるとお話されていました。

在宅薬剤管理について知らない方も多く、今後在宅医療介護にシフトしていく中での、薬剤師も交えた多職種協働カンファレンスがより求められると感じた研修会でした。





☆平成 29 年度 僻地 • 被災地医療体験実習

平成29年7月19日、20日の2日間、「平成29年度 僻地・被災地医療体験実習」として、東北医科薬科大学医学部の学生5名が実習を行いました。

中鉢病院長から、当該地域の概要や病院の役割、地域医療連携の現状について講話を頂き、また院内各部署をまわり業務の様子を見学しました。

体験学習として、若柳病院や花山診療所の訪問診療に随行するなど、栗原市の 医療の現状や課題、重要性等について理解を深めました。

地域医療連携室の業務見学では、退院前共同カンファレンスやリハビリ見学、 施設の聞き取り(患者様の実態調査)の様子を見学し、地域の医療機関や介護・ 保健・福祉事業所との関わり方について理解を深めた様子でした。













☆栗原市立3病院地域医療連携実務者連絡会議

平成29年6月23日(金) 栗原市立栗駒病院にて、第7回栗原市立3病院地域医療連携実務者連絡会議を開催しました。この会議は栗駒病院、若柳病院、栗原中央病院の連携に関わる職種が集まり定期的に開催しています。

今回は、退院支援加算に関わる入院時スクリーニングシートの活用に関して意見交換をしました。地域医療を支える市立病院が、それぞれの役割を理解し患者様の退院支援のプロセスのひとつである退院スクリーニングの意義・重要性を共有する機会となりました。







≪学会。研修会。論文発表》

☆日本磁気共鳴医学会雑誌 第 37 巻 2 号 (2017) P.50-61

『MRI 検査を安全に行うための貼付剤の体系的分類および検査時の適切な対処法について』

…吉田 礼, 引地健生

☆第42回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会 2017.7.15 ー 八戸市 ー

『ワイヤー付バルーン(ScoreFlex)使用で合併症が起きた亜急性心筋梗塞の 1 例』

…矢作浩一, 尾形 剛, 平本哲也

☆第54回日本リハビリテーション医学会学術集会 2017.6.8-10 ― 岡山市 ―

『両脛骨疲労骨折再発例に対してインソールと運動療法が奏功した 1 例』

… 畠 英里, 永元英明

『障害予防の観点から見る、ジュニアユース世代へのサッカー検診の取り組み』

···主藤弘太郎¹⁾, 畠 英里¹⁾,太田浩貴¹⁾,前川芳輝¹⁾,阿部允哉¹⁾,鎌田文彦¹⁾,矢口春木²⁾,

永元英明 ¹⁾,荒井 豊 ¹⁾,石田健司 ¹⁾ ^{1) 栗原市立栗原中央病院, 2) 東北大学病院診療部 リハビリテーション部門}

『介護予防事業を通じて行う地域に合った街作り 一横糸と縦糸の絆作りと介護予防の<前・中・後>対策一』

…石田健司(前.栗原市立栗原中央病院リハビリテーション科)

『10 歳男児の第5 腰椎分離すべり症に対して体幹機能訓練により改善が認められた一例』

…阿部允哉, 畠 英里, 永元英明



≪診療状況報告≫

◎救急医療状況()内及び時間内患者数は救急車搬入数

院 救急車 区分 時間内計 時間外計 搬入計 時間内 時間内 時間外 時間外 4月 272 (54)17 75 (44)28 347 (98)45 143 5月 287 (62)18 87 (51)31 374 (113)49 162 (53)19 72 (41) 340 (94)54 148 6月 268 35 7月 378 (66)17 75 (39)39 453 (105)56 161

〇内視鏡検査等状況

		上	部消化管		市部	消化管		合計	
	診断的 内視鏡	止血術	粘膜切除 粘膜下層 剥離術	胃廔造設術 食道拡張術 異物除去他	診断的 内視鏡	治療内視鏡 ポリペクトミ ー他	ERCP 関連		
4月	177	7	0	3	42	16	11	256	
5月	197	12	0	5	52	13	11	290	
6月	231	17	4	3	105	23	22	405	
7月	215	19	5	4	108	25	21	397	

◎手術実施状況

区分	全身麻酔					腰椎麻酔				局所麻酔							∧= 1	
	外	泌	皮	整	計	外	泌	皮	整	計	外	泌	眼	皮	内	整	計	合計
4月	16	0	0	11	27	2	0	0	8	10	0	0	21	0	0	2	23	60
5月	15	0	0	16	31	0	0	0	15	15	3	0	18	0	0	4	25	71
6月	19	0	0	11	30	0	0	0	6	6	6	0	25	0	0	10	41	77
7月	13	0	0	10	23	1	0	0	11	12	1	0	23	1	О	3	28	63

- 編集後記-

今年の夏はいったいどこへ行ってしまったんだろう!? 夏の醍醐味を味わう機会が少なくて残念…。でも市民 ふれあい祭りは盛会裏に終り、ホッと一息です。 〒987-2205 宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1

栗原市立栗原中央病院(代表)TEL:0228-21-5330 FAX:0228-21-5350

http://www.kurihara-central-hp.jp/

(単位:人)

(単位:人)

(単位:人)

地域医療連携室(直通) TEL: 0228-21-5335 FAX: 0228-21-5336